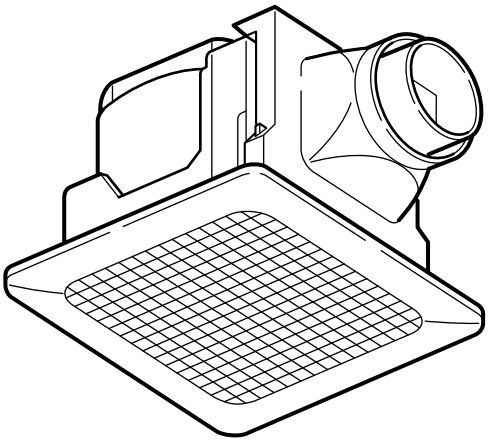
据付説明書

(工事される方へ)取扱説明書もご覧ください。

HITACHI
Inspire the Next

日立ダクト用 換気扇

DS-14B、DS-14BM
DS-14BH、DS-14BHS-BL形



もくじ

	ページ
安全上のご注意	2
据付上のご注意	3
寸法図	4
各部のなまえ	4
取付例	4
取り付けかた	5
結線方法	7
天井板の取り付け	8
グリルの取り付け	8
システム部材	8

- この商品の取り付けおよび電気工事は専門工事が必要です。販売店、専門工事店に依頼をしてください。
- 据付工事においては取扱説明書についてもよくお読みになり、正しく据付工事を行ってください。

ご注意

- この換気扇は24時間対応商品ではありません。
- 長時間連続でご使用になると、短期間で故障する可能性があります。その場合は、お買い上げの販売店にご相談のうえ、定期的な点検を受けてお使いになることをお勧めします。

安全上のご注意

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

■ここに示した注記事項は

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負うことが想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示の欄は、「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。

絵表示の例

⚠	「警告や注意を促す」内容のものです。
⃠	してはいけない「禁止」内容のものです。
❗	必ず実行していただく「指示」内容のものです。

⚠ 警　告

アースを確実に取り付ける
- 故障や漏電のときに感電する恐れがあります。アースの取り付けは販売店にご相談ください。

交流100V以外では使用しない
- 火災・感電の原因となります。

メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属ダクトとメタルラス、金属板とが電気的に接触しないように取り付ける
- 漏電した場合、発火することがあります。

内釜式風呂を設置した浴室では使用しない
- 排気ガスが浴室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こすことがあります。

⚠ 注　意

本体の取り付け工事は十分強度のあるところを選んで確実に行う
- 落下によりけがをする恐れがあります。

羽根や部品の取り付けは確実に行う
- 落下によりけがをする恐れがあります。

浴室内に壁スイッチを設けない
- 感電の恐れがあります。

直接炎があたる恐れのある場所には取り付けない
- 火災の恐れがあります。

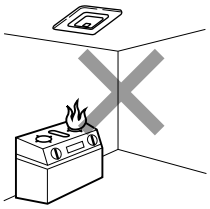
配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う
- 誤った配線工事は感電や火災の恐れがあります。
- 配線工事は電気工事業者が行ってください。

本体の取り付けのときは、必ず厚手の手袋などを着用する
- 板金の端などでけがをする恐れがあります。

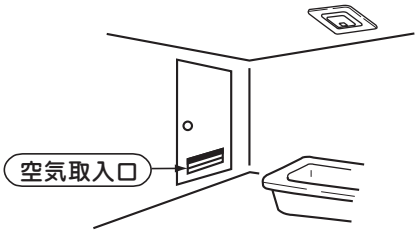
据付上のご注意

ご注意・・・・・ 次のようなところには取り付けないでください。

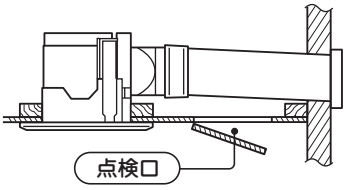
- この換気扇は浴室、トイレ、洗面所などに使用する換気扇です。40℃を超える場所には取り付けないでください。
  プラスチック部品の変形や故障の原因になります。



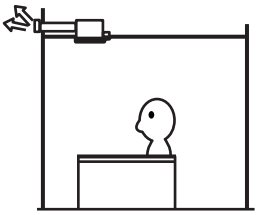
- 密閉された部屋で使用する場合は効率よく排気するために十分な空気取入口を換気扇と反対側の位置に設けてください。



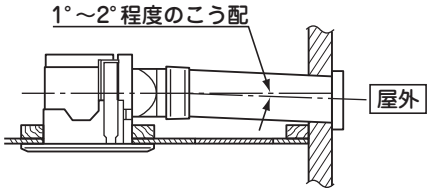
- 点検口を必ず設けてください。



- 湿気の多い所では結露水が滴下することがありますので、滴下しても不快にならない場所に取り付けてください。

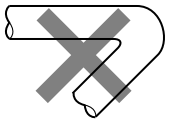
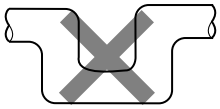
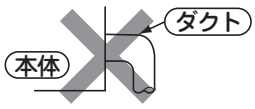
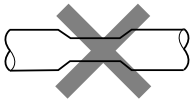


- 接続ダクトは室内側に結露水がたれないように屋外側に下りこう配(1°～2°程度)になるようにしてください。

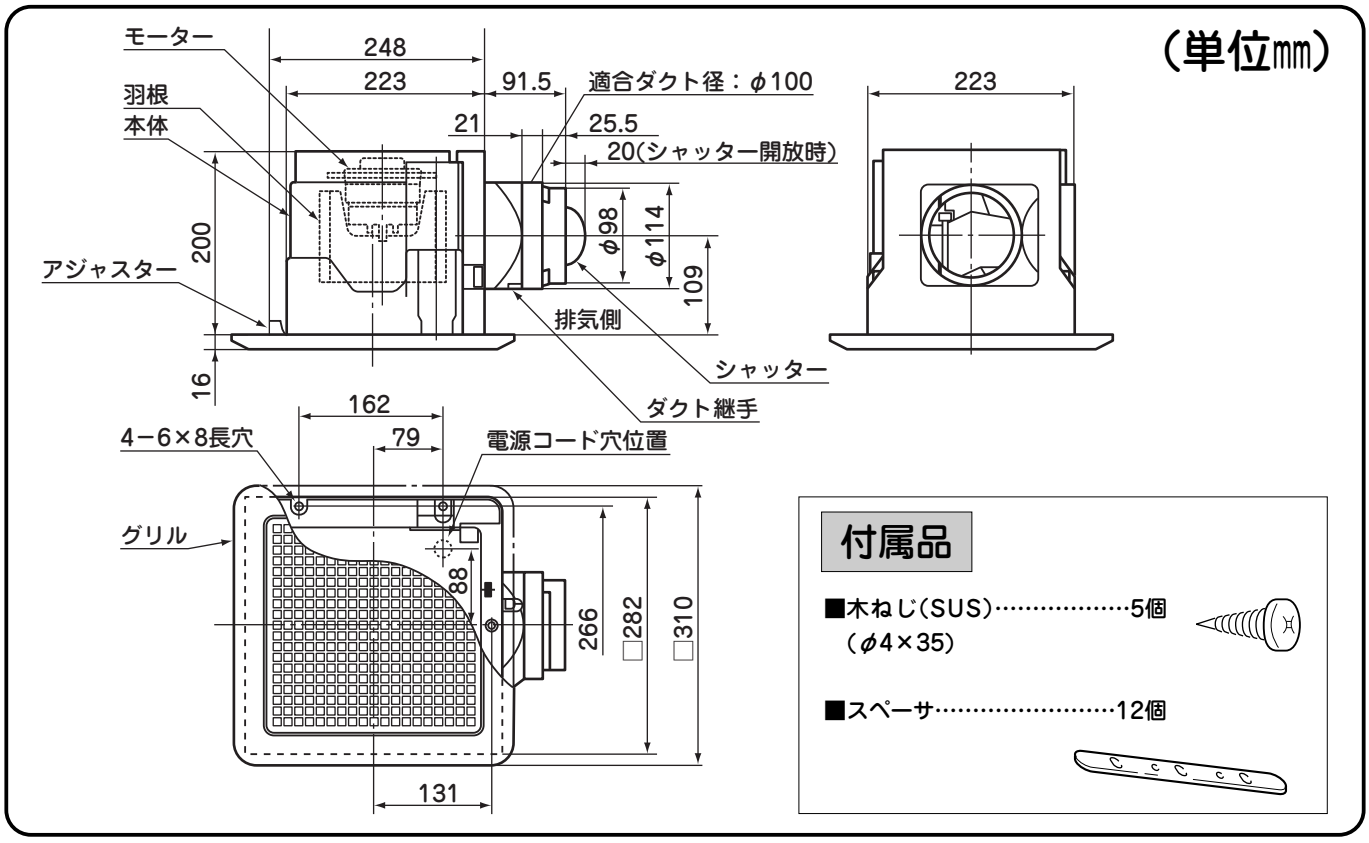


- 取り付けが不十分ですと、異常音や共鳴音が発生することがありますので、しっかり取り付けてください。
- 天井板は強度があり、共鳴しにくい材料(石こうボード、木毛セメント板など)を使用してください。
- 金属製のダクトを使用して木造の壁を貫通する場合には、ダクトと壁とは電気的に絶縁してください。
  (電気設備技術基準　第182条、第3項)
- 地域によっては、ジャバラを使用できない場合がありますので十分ご注意ください。
  (詳細は行政官庁または消防署にお問い合わせください)
- 取付枠に防腐剤を塗った場合は、本体が直接触れないように取り付けてください。
- 本体とダクトは必ず断熱空間内に設置してください。
  断熱材が電線接続部に接触しますと吸湿し、漏電する場合があります。

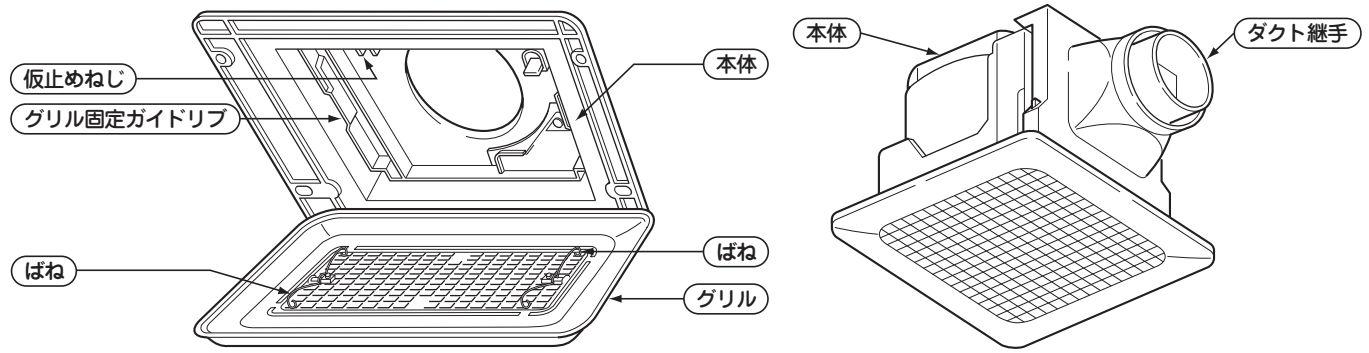
- 次のような配管工事はしないでください。
  風量が減少したりシャッターが開かなくなることがあり、また騒音が高くなる原因にもなります。

(1)　極端な曲げ	(2)　多数回の曲げ	(3)　排気口のすぐそばでの曲げ	(4)　接続ダクト径を小さくする。
			

寸法図

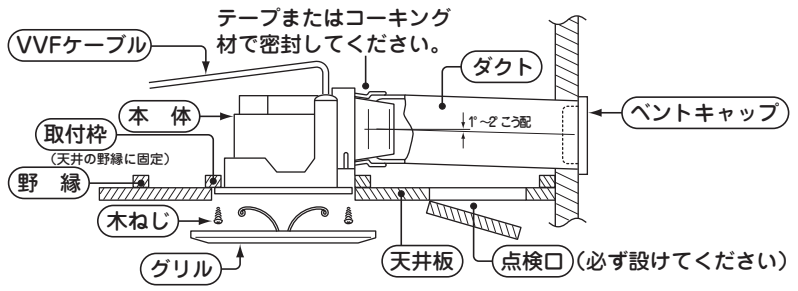


各部のなまえ



取付例

■取付参考図



取り付けかた

⚠ 注　意

本体の取り付け工事は十分強度のあるところを選んで確実に行う
- 落下によりけがをする恐れがあります。

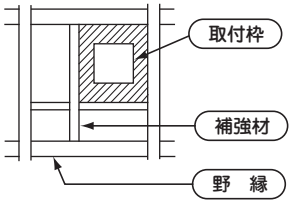
ご注意　取付枠に防腐剤を塗った場合は、本体が直接触れないように取り付けてください。
防腐剤によりダクト継手、本体が亀裂・破損する恐れがあります。

本体の取り付けは、新規取り付け・取付枠内のり寸法250mm角への買い換え取り付けの場合と、取付枠内のり寸法225mm角への買い換え取り付けの場合とでは、取り付け方法が異なります。

新規取り付け・取付枠内のり寸法250mm角への買い換え取り付けの場合

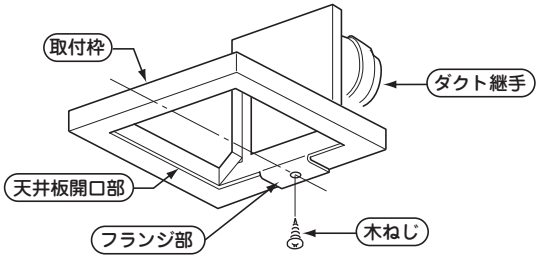
1. 取付枠の取り付け

- 取付枠内のり寸法に合わせて取付枠をつくります。
  取付枠は30mm角を使用してください。
  取付枠内のり寸法：250mm角
- 製品の重量が十分ささえられるように補強材を使って野縁に固定します。



2. ダクト継手の取り付け

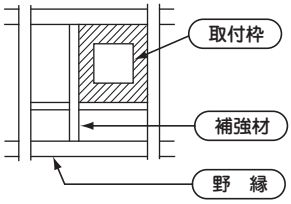
①本体からダクト継手を外します。
②ダクト継手のフランジ部を取付枠に、付属の木ねじ（1個）で取付枠の中心に合わせて固定します。



取付枠内のり寸法225mm角への買い換え取り付けの場合

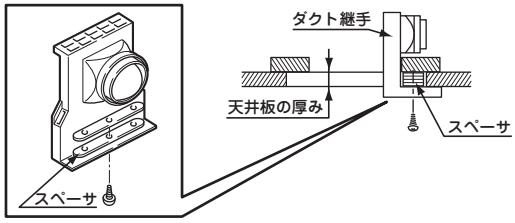
1. 取付枠の確認と補強

- 取付枠
  取付枠は30mm角を使用してあること。
  取付枠内のり寸法：225mm角であること。
- 製品の重量が十分ささえられるように補強材を使って野縁に固定します。

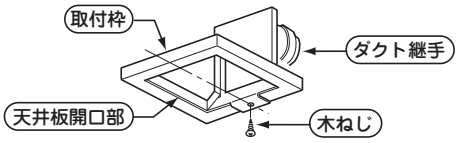


2. ダクト継手の取り付け

①本体からダクト継手を外します。
②ダクト継手に付属のスペーサを天井板の厚み分、重ね合わせます。
（スペーサ4枚で、天井板厚み12mmまで対応可能です）



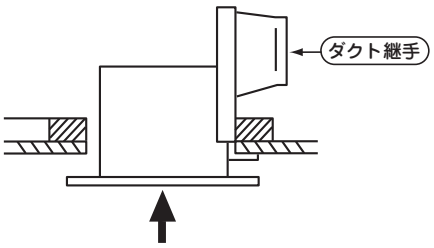
③ダクト継手のフランジ部を取付枠に、付属の木ねじ（1個）で中心を合わせて固定します。



3. 本体の取り付け

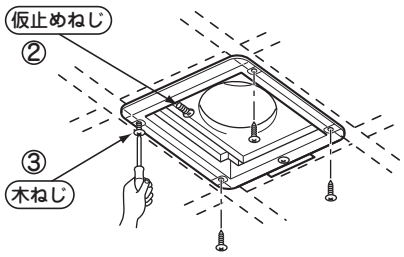
■付属の木ねじで固定します。

①本体をダクト継手に沿わせてはめ込みます。



②仮止めねじで本体を仮固定してください。

③本体がダクト継手に密着していることを確認してから、付属の木ねじ（4個）で本体をしっかり固定してください。



4. 吊り金具を併用する場合

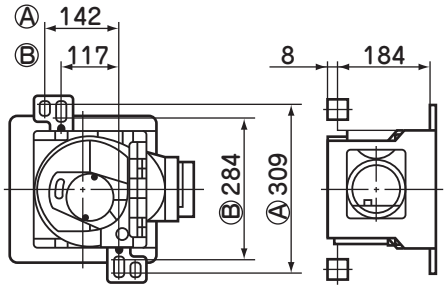
■吊り金具で固定する場合

- 吊り金具はシステム部材のVP-14DTUを使用します。（システム部材は、日立の家電品取扱店でお求めいただき、取付方法はVP-14DTU形製品に同梱の取扱説明書に従い、お取り付けください）

①新規取り付け・取付枠内のり寸法250mm角への買い換えの場合はⒶ寸法を使用します。

②取付枠内のり寸法225mm角への買い換え取り付けの場合はⒷ寸法を使用します。

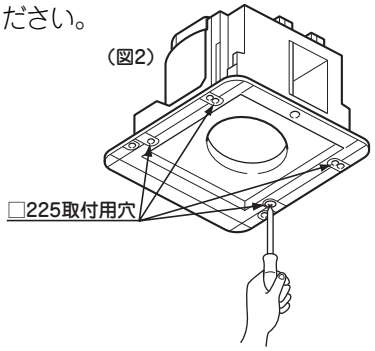
- 下図を参照してアンカーボルトを埋め込みます。



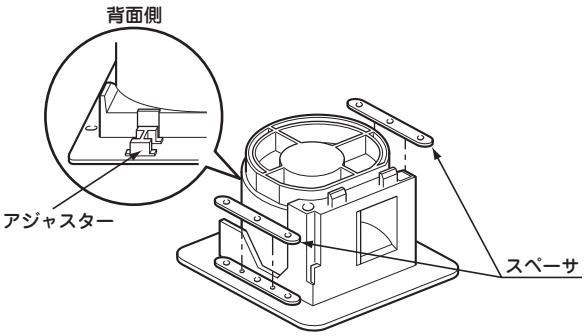
3. 本体の取り付け

■木ねじで固定する場合

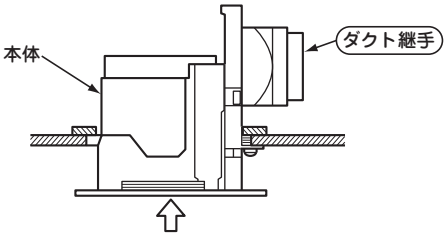
①本体フレームに木枠□225取り付け用の穴を、きり、ドリルなど先のとがったもので、4か所あけてください。



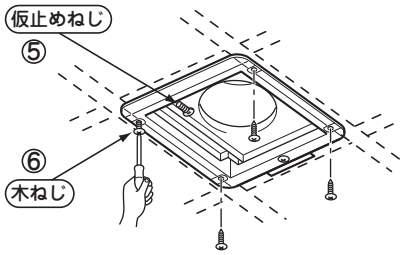
②下図のように両側にスペーサを天井板の厚み段差分重ね合わせます。
本体背面側に取り付けられたアジャスターを取り外してください。



③本体をダクト継手に沿わせてはめ込みます。



仮止めねじで本体を仮固定してください。
本体がダクト継手に密着していることを確認してから、付属の木ねじ（4本）で本体をしっかり固定してください。

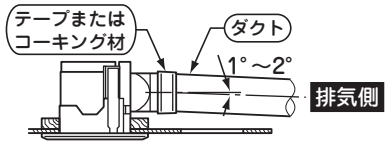


5. ダクト継手とダクトの接続

● 接続ダクトは下表のものからお選びください。

塩化ビニル管	VU φ100(内径107mm)
	VP φ100(内径100mm)
アルミ製ダクト	呼び径(内径100mm)
鋼板製ダクト	

● 接続部をテープまたはコーキング材で密封してください。
排気側ダクトは屋外側に1°～2°下りこう配にし、吸気側ダクトは本体側に1°～2°下りこう配にしてください。



ご注意

● ダクトとダクト継手をテクスねじなどで固定しないでください。
シャッターにねじが当たり、シャッターが開かなくなることがあります。

結線方法

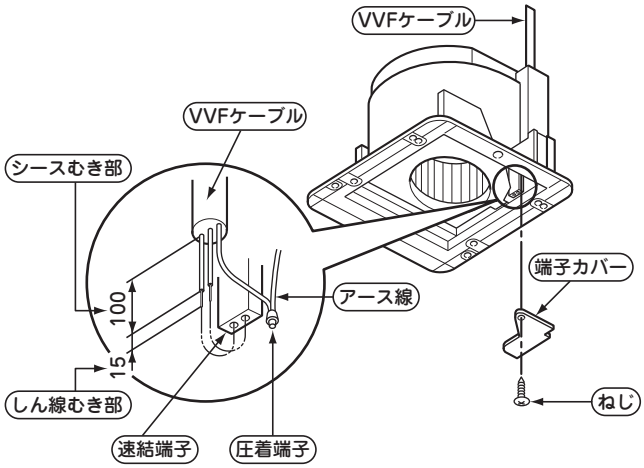
⚠ 警　告

交流100V以外では使用しない
● 火災・感電の原因となります。

⚠ 注　意

配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う
● 誤った配線工事は感電や火災の恐れがあります。
● 配線工事は電気工事業者が行ってください。

● 端子カバーのねじをゆるめて外してください。
● VVFケーブル（φ1.6またはφ2）の先端を図のように加工します。
● VVFケーブルの先端を本体上部の穴から通して速結端子に接続します。



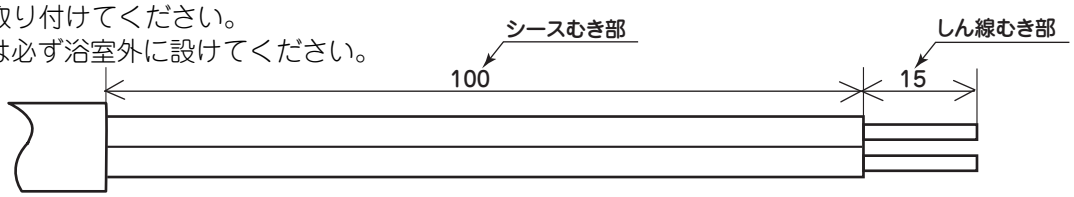
ご注意

しんが見えなくなるまで十分に差し込んでください。
● **必ずアース（D種接地工事）をしてください。**

⚠ 警　告

アースを確実に取り付ける
● 故障や漏電のときに感電する恐れがあります。アースの取り付けは販売店にご相談ください。

● 水気のある場所に取り付ける場合はアースのほかに漏電遮断器を取り付けてください。
● 電源スイッチは必ず浴室外に設けてください。



⚠ 注　意

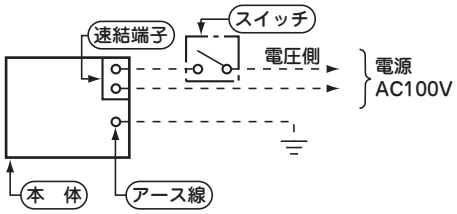
● **速結端子はより線による結線は絶対にしないでください。接触不良となり、発火の原因となります。**

⚠ 警　告

浴室内に壁スイッチを設けない
● 感電の恐れがあります。

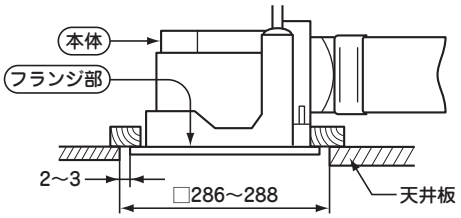
スイッチは両切りスイッチを使用してください。片切りスイッチを使用する場合は、必ず電圧側に取り付けてください。
● 結線終了後、端子カバーを取り付けてください。

片切りスイッチの場合の結線



天井板の取り付け

- 必ず天井板と本体のフランジ部のすき間が2～3mmになるように開口をあけてください。
  フランジ部に天井板をのせると本体が外せなくなります。
- 天井板の板厚は25mm以下にしてください。



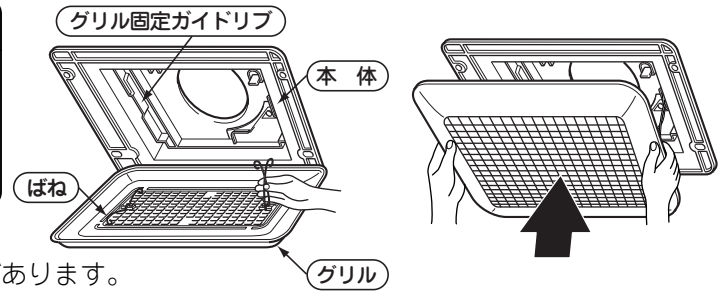
グリルの取り付け

- グリルには、2つのばねが付いています。まず、片方のばねをつかみ、ばねをせばめ本体のグリル固定用ガイドリブに差し込みます。次に、他方のばねを同様の手順で差し込み、軽くグリルを押し込みます。

⚠ 注　意

羽根や部品の取り付けは確実に行う
- 落下によりけがをする恐れがあります。

ご注意　グリルは確実に固定してください。
グリルの落下によりけがをする恐れがあります。



以上で、換気扇の取り付けが完了しました。次の取り付けと運転について確認をしてください。
- 製品の取り付け強度が十分であること。
- 運転したとき異常音、異常振動がないこと。
- シャッターが開きダクトから風が出ること。

優良住宅部品(BL)について

- 当社の定める施工要領を逸脱しない据付工事に瑕疵が生じ、施工者が無償修理や損害賠償を行った場合、BLマークの証紙の貼付(または刻印など)がされている部品については、財団法人ベターリビングのBL保険制度により、保険金が支給されます。
- BL保険制度や当住宅部品の施工要領の詳細については、財団法人ベターリビングのホームページ(http://www.cbl.or.jp/)をご覧ください。

システム部材

システム部材は取付方法により必要になります。
詳しくはカタログをご覧になり、日立の家電品取扱店にてお求めください。

取扱説明書・据付説明書は必ず使用されるお客様にお渡しください。

日立グローバルライフソリューションズ株式会社
〒105-8410　東京都港区西新橋2-15-12
電話(03)3502-2111

株式会社　日立産機システム
〒101-0022　東京都千代田区神田練塀町3番地AKSビル
電話(03)4345-6000(代)

3-F7784-4G　　C9(AP)